

光干渉断層計機器仕様書

装置名	光干渉断層計(OCT)
装置概要	OCT(Optical Coherene Tomography：光干渉断層計)は、1996年に眼球の網膜撮影に応用されるようになりました。現在では、短時間に複数毎の撮影ができる超高速、高解像度の網膜断層像、光干渉断層血管撮影、及び前眼部(角膜、隅角、強膜)断層像の取得が可能です。また、眼底カメラは、造影眼底写真、カラー眼底写真、自発蛍光眼底像を取得できます。また、光干渉断層計、及び眼底カメラは焦点面以外の不鮮明な像は取り込まずに観察光の焦点面のみの像を取得して、より鮮明なコントラストの高い画像を得る事ができます。
機器構成	光干渉断層計(OCT)、眼底カメラ、電動システムテーブル、付属機器及び画像解析コンピューター

項目		要求条件
1	光干渉断層計(OCT)及び眼底カメラ(造影・カラー・自発蛍光眼底カメラ)	
1-1	構成	光干渉断層計による、網膜断層像、光干渉断層血管撮影、前眼部(角膜、隅角、強膜)眼底カメラによる、造影眼底写真、カラー眼底写真、自発蛍光眼底写真
1-2	使用方法	同時に使用することが可能であること。
1-3	固視灯	内部固視灯が装備されていること。
1-4	撮影時瞳孔径	2.5mm以上から対応していること。
1-5	光源	レッド、グリーン、ブルー各波長域の光源を有していること。
2	光干渉断層計(OCT)	
2-1	走査方式	タイムドメイン方式以外であること。
2-2	断層撮影	可能であること。
2-3	スキャンレート	毎秒85,000Aスキャン/秒の深さ方向の走査が可能であること。
2-4	縦方向分解能	7 μ m以下であること。
2-5	横方向分解能	20 μ m以下であること。
2-6	固視追尾機能	有していること。
2-7	加算平均画像処理	有していること。
2-8	ノイズリダクション機能	有していること。
2-9	スキャン幅	16.5mm以上であること。(OCT断層像、横方向の撮影範囲)
2-10	スキャン深度	1.5mm以上であること。
2-11	スキャンパターン	シングル、ポリウムスキャンを有していること。
2-12	同時撮影	可能であること。
2-13	フォローアップ機能	可能であること。

3	眼底カメラ(造影・カラー・自発蛍光眼底カメラ)	
3-1	共焦点の撮影	可能であること。
3-2	フルオレセイン蛍光血管造影 (FA)	ブルーレーザーを使用し撮影ができること。
3-3	インドシアニングリーン蛍光血管造影 (IA)	赤外光レーザーを使用し撮影ができること。
3-4	自発蛍光眼底撮影 (BlueAF、IRAF)	ブルーレーザーまたは赤外レーザーを使用し撮影ができること。
3-5	固視追尾機能	有していること。
3-6	加算平均画像処理	有していること。
3-7	ノイズリダクション	可能であること。
3-8	眼底撮影の範囲	55度以上であること。
3-9	カラー眼底撮影	可能であること。
3-10	オートコンポジット機能パノラマ	装備されていること。
3-11	計測ツール	装備されていること。
4	付属機器及び画像解析コンピューター	
4-1	アンギオ撮影機能	ハイデルベルク社OCTAモジュール又は同等の機能を有すること。 詳細は担当者と相談のこと。
4-2	前眼部OCT撮影機能	装備されていること。
4-3	緑内障診断機能	有すること。
4-4	OS	Microsoft社製Windows10 (64bit) 相当以上であること。
4-5	メモリ容量	4GB以上を有していること。
4-6	物理容量	200GB以上の内蔵ハードディスク装置を有すること。
4-7	被検者データ記憶装置	ミラーリング機能を有した4TB以上の外付けハードディスクであること。
4-8	アーカイブデータ記憶装置	ミラーリング機能を有した4TB以上の外付けハードディスクであること。
4-9	画像出力	画像ファイリングシステムに出力可能であるJpeg形式で行えること。
4-10	画像データのアーカイブ	引き続くことができること。